

【主体的に取り組む】研究グループ

1 学習のキャリアパスポートは学力を身につけるために有効か

単元を貫く学習課題を達成するために効果的である。生徒にもアンケートを取り、実態を調査する。

～生徒の観察から～

- ・自分の課題とリンクさせながら取り組んでいる。
- ・教員の適切な指導助言によって自己調整している。
- ・本時までの学びを活かしながらメタ認知して自己調整につなげている。

2 学習のキャリアパスポート活用を全職員で実践する～実践方法～

前提…毎時間回収してコメントを書くのが望ましい。

①授業内での活用は授業開始のタイミングで行う(返却して生徒に見せる)。

→前時から引き継ぎ、単元の見通しを持った中でゴールを決めて、自分で考えて取り組む(自立した学習者)にするために活用している。

②授業開始時に現在地(できていることとできていないこと・本時のゴール)を確認

→単元内自由進度学習で主体的に学習に取り組む

→振り返りでB評価以上達成につながる指導と評価をする。(指導と評価の一体化)

現在地をメタ認知→主体的に授業に取り組む→振り返り

→ポイントを修正して次時へつなげるようなアドバイスを。

ex. 「C→B、B→Aにするための視点を与える」

「振り返りは書いているが方向性がずれている生徒への軌道修正」etc.

※アドバイスの量・質ともに、教科ごとに差がないように、指導を共有する。

見せあい授業を推進。

③家庭で書かせること(キャリアパスポートの持ち帰り)は基本的にはしない(生徒の負担を考慮)。授業内に確認する場合(振り返りの時間にコメントを言う形でフィードバックを返している教科)であっても下線を引いて一言添えるなど、形として残していく。ま

た、授業内で完結する場合であっても「個別最適な学び」の観点から、授業の際にコメントを入れる（紙面上に残す）ことを検討していく。

④授業内で振り返りの共有が生徒同士で行えると良い（交流）。

→他の生徒がどのように自己調整を行っているのか知るきっかけになる。

⑤「（私の）課題設定」については0次か1次には記入させる。

⑥「学習活動」については教員が示すのではなく、各自の課題に合わせて「一斉・個別・協働」などを選択させたい。

・保管方法…成績に関わるものであるため、教員が保管する際には机上に置きっぱなしにしないなど、管理を徹底する。

生徒に対しては保管方法や大切な資料であるということを指導する。

・フォーサイト…その日に学習したことを振り返り、家庭学習で取り組む内容を決めてから下校できるように指導していく（授業と家庭学習をつなげる）。

・その他…各教科で副教材を購入している場合などは、それらに取り組むタイミングなども適宜指導していく。